

令和5年度 大学等の質保証人材育成セミナー

高等教育と生涯学習を 横断する質保証 vol.5

大学を生涯学習の拠点とするには 地域連携と教育機関連携の実践例から

オンライン

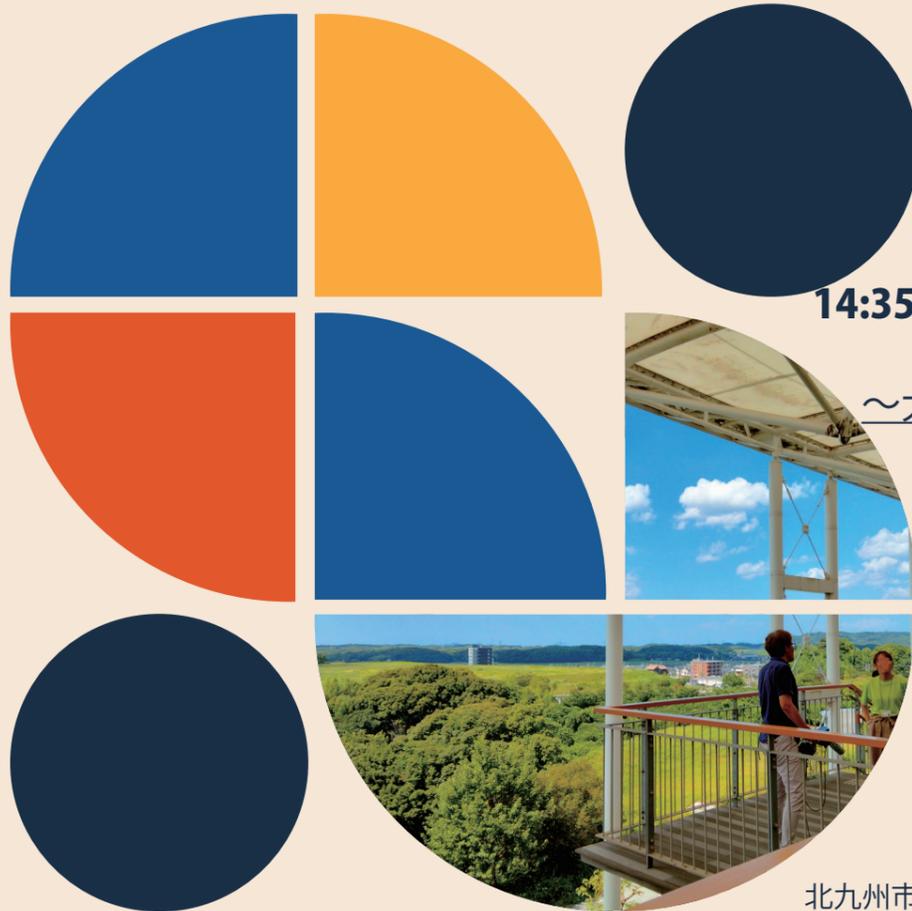
2023

09

13

Wed

14:30-17:00



北九州市立大学 ひびきのキャンパス

戸田山和久

大学改革支援・学位授与機構 研究開発部長

14:30-14:35 開会あいさつ

齊藤 明

公益財団法人大学コンソーシアム京都

副事務局長(教育事業部担当)

14:35-15:10 「大学のまち京都」における

生涯学習・リカレント教育

～大学コンソーシアム京都の取り組み～

益川浩一

東海国立大学機構 岐阜大学 地域協学センター長

廣内大輔

ネットワーク大学コンソーシアム岐阜 幹事長

15:10-15:50 自治体や地場産業との

密接な連携が教育ニーズを生む

中武繁寿

北九州市立大学 国際環境工学部長・国際環境工学研究科長

川村和弘

北九州市立大学 ひびきのキャンパス 学務課入学試験係長

15:50-16:25 「環境教育」を通じて地域と教育機関とをつなげる

16:25-16:30 休憩

16:30-17:00 ラウンドテーブル

対象者

教育機関教職員、教育関係有識者、研究者
就業支援者、企業担当者、自治体職員

参加方法 9月13日(水) 12:00メ切

申し込みフォーム

<https://forms.office.com/r/fz71MY48fZ>



大学改革支援・学位授与機構
評価事業部評価企画課 企画第2係

hyokikaku2@niad.ac.jp

<https://www.niad.ac.jp/event/event2023/qehrd5.html>

高等教育の質保証に関する世界的な議論では、学位や卒業証明よりも小さな学修歴の証明である、マイクロレデンシャルに対する取り扱いが、大きなトピックとされています。

マイクロレデンシャルという語は、アメリカ合衆国を中心とするMOOCs(大規模公開オンライン講座)の台頭でよく知られるようになりました。しかし、社会人向けの短期コースや、他教育機関との単位互換制度、既修得単位認定といった、短期でノンフォーマルな学びは、従来からさまざまなかたちで提供されてきています。

生涯学習を推進しようとするさまざまな取り組みの中で、高等教育機関と職業教育、社会人教育との接続の場をつくることが期待されてきました。今回のセミナーでは、地域連携やコンソーシアムを通じて、短期プログラムの単位を、機関横断的に通用している事例を紹介いたします。

地域課題に根差した学術プロジェクトを立ち上げ、その学修履歴をレデンシャルとして認知してもらうことは、教育コンテンツを必要とするエコシステムを構築し、維持する取り組みの好例と言えます。

また、コンソーシアムを通じたコースの共有は、教育機関間の垣根を低くし、短期の学びを単位互換して積み上げていく前提となるものです。

こうした横断的な教育プログラムをさらに広げて、短期の学修成果がさらに活用されるようにするには、どのような環境整備が求められるのでしょうか。ご参加の皆様と一緒に考えていきます。